



**みなもと小の児童に
身につけさせたい4つの力**

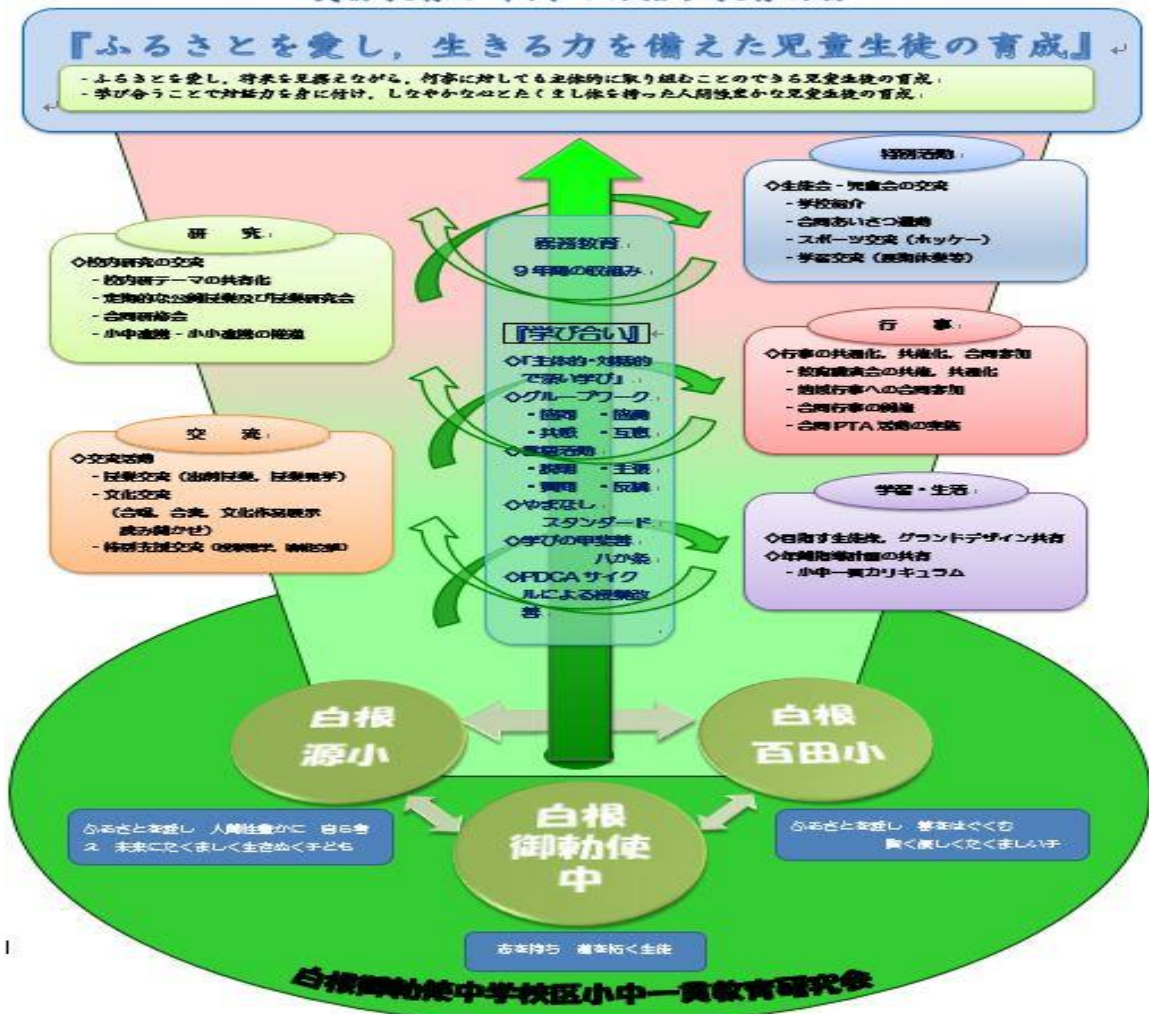
- 1 人を大切にする力
- 2 自らの考えを持つ力
- 3 自分を表現する力
- 4 チャレンジする力

令和5年度より白根御勅使中学校区小中一貫校がスタートします！

令和2年度より白根御勅使中学校区小中一貫校に向けて、白根御勅使中学校・白根源小学校・白根百田小学校の3校で話し合いが始まり、コロナ禍ではありましたが、令和3年度から3校の交流が実際に行われるようになってきました。このことは、小中学校の接続をスムーズにし、小学校から中学校に入学する際の「中1ギャップ」という中学1年生の学校不適應の防止にも大きな効果をもたらすことが期待されています。今年度の令和4年度も、白根御勅使中学校区小中学校教育目標のもと、教育課程のスムーズな接続に向けた取組、様々な活動による小中学校の児童生徒の交流や研究会や授業参観等の教職員の交流等を通してより一層の研究を深めていく予定です。

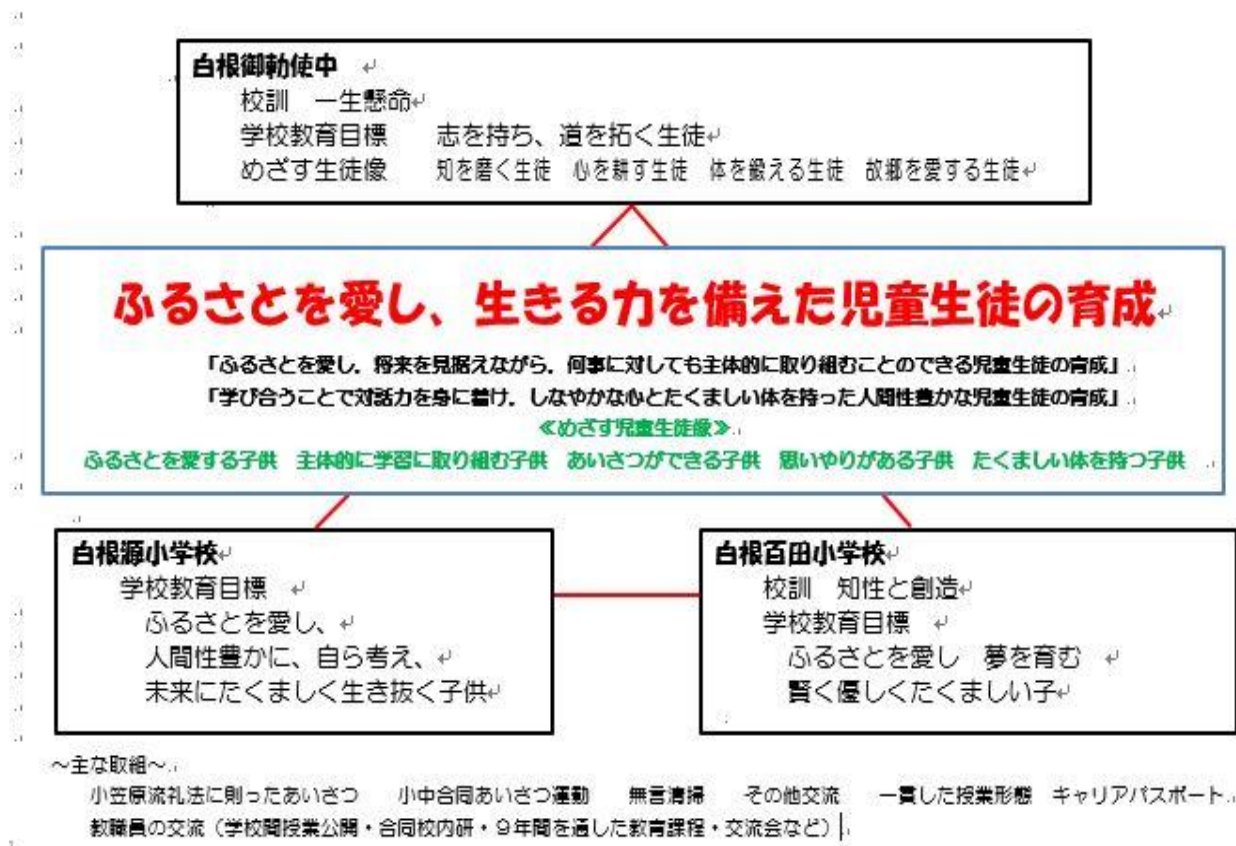
《白根御勅使中学校区小中学校教育目標》

令和4年度 白根御勅使中学校区小中学校教育目標
～義務教育9年間で目指す教育目標～



《白根御勅使中学校区小中一貫教育の取組と学校教育目標》

令和4年度白根御勅使中学校区小中一貫教育研究会 学校教育目標（めざす児童生徒像）



《小中一貫教育とは》

小中一貫教育とは、小学校と中学校の義務教育の9年間で行われる一貫した系統的・継続的な教育のことを指します。特徴としては、小学校と中学校の教員が教育上の目標を共有して教育が実施されること、9年間で系統的・継続的な教育カリキュラムが編成されること、9年間の学習環境が安定することなどが挙げられます。

また、小中一貫校とは、小中一貫教育を実施している学校を指し、南アルプス市では、併設型の小学校・中学校として、従来通り別々の敷地でそれぞれの学校の特色を生かしながら、同時に小中一貫校としての共通した学校教育目標を持ち、様々な面でのつながりや連携を強め、小中学校のスムーズな接続と9年間の中で一貫した教育を目指しています。

《小中一貫教育の具体的な取組は》

- ・小中学校で共通した学校教育目標を持つことで、同じ方向を向いて教育を進めます。
- ・小中の教育課程のスムーズな接続と指導方法や評価方法を互いに共有します。
- ・授業を行う上での学習のきまりを統一することで、スムーズな接続を目指します。
- ・小中学校の児童生徒が行事等を通して互いに交流する機会を計画的に作っていきます。
- ・教職員が研究会や授業参観等で互いに交流する機会を定期的な作っていきます。

★小中一貫校として小中一貫校教育のメリットを生かし、義務教育の9年間で共通した目標に向かってスムーズに接続され、子どもたちの発達段階に応じた教育を通して無理なく「生きる力」を育てていきたいと考えています。